

府中市中心市街地活性化基本計画（案）に対するパブリックコメント手続の実施結果

1 意見の提出期間
平成27年11月24日（火）から12月25日（金）まで

2 意見の提出者数

提出者数	件数	意見の提出方法別の人数				
		Eメール	FAX	郵送	意見投函箱	窓口
2人	26件	2人	0人	0人	0人	0人

3 意見の概要及び意見に対する市の考え方
別紙のとおり

(分類・ページ数については、パブリックコメント時の基本計画(案)に基づきます。)

No.	大分類	中分類	ページ	意見	市の考え方
1	全般			既に、平成26年3月に生活環境部経済観光課が「府中市商店街振興プランを作成しているが、「府中市中心市街地活性化基本計画(案)(平成28年7月から平成34年3月まで)」を作成するにあたり、主に『中心市街地商店街の振興』との視点から生活環境部経済観光課とどのような連携を図ったか、具体的に教えてほしい。	本基本計画では、中心市街地活性化の方針として、府中駅周辺の歴史・文化資源や駅前商業施設、商店会、イベント等などのにぎわいの要素を一体的に取りまとめ、戦略的に展開することで魅力あるまちづくりを進めることとしています。 このことは、府中市商店街振興プランにおいて、主要駅近郊にある商店街は今後、ネットワークの強化や新たなサービス・イベントを検討するという内容とも合致したものであり、双方の取組により、府中駅周辺の商店街を含む中心市街地の活性化を図るものでございます。
2	全般			報告書という意味での読み物としては良いが、現実の活性化に向けた実行計画にはほど遠い。 また、「L♡v eふちゅう賑わい創出委員会」はイベント対応型であり、既存の同業者の集まりからは革新的な施策は期待できず、府中市が抱える商圈外顧客の集客という難題の解決は到底果たせないと思われる。 府中市民の中から、商業に知識があり、生活実感のある市民を公募し、成果が上がる可能性のある実践可能な計画を考える協議会とすべきである。	中心市街地の活性化につきましては、本基本計画に基づく各種事業をハード・ソフトの両面から実施していくことにより、実現していくものと考えております。 そのなかで、「L♡v eふちゅう賑わい創出委員会」につきましては、実務に携わっている方々を中心に、にぎわい創出やケヤキ並木の保護を目的に設立された団体ですが、基本計画策定後の各種事業の実施を見据え、今後の組織体制のあり方を検討しているところでございますので、いただいたご意見を参考に進めてまいります。
3	1	[2]	3、5	3ページ、[2] 中心市街地活性化に関するこれまでの取組と検証／(1) これまでの取組で、府中駅北側の土地区画整理事業に関する記載がある一方で、5ページ、(2) これまでの取組の検証には、『府中駅北側の土地区画整理事業』についての記載が見当たらない。 「府中駅北側の土地区画整理事業」については、どのように評価しているのか、教えてほしい。	府中駅北側の土地区画整理事業の効果といたしましては、大きく2点挙げられます。 1点目は、街区の骨格となる国分寺街道やいちょう通り、あかしあ通りなどの都市計画道路の新設、また甲州街道及び桜通りなどの既設道路の整備により、交通環境の確保がなされたことです。2点目は、都市計画道路に囲まれた中に整備した区画道路は、生活道路として沿道宅地の交通、上下水道・ガスの供給処理施設等の収容スペース、日常生活の空間確保等、住みやすいまちの基礎としての役割を果たしています。 これらの結果、府中駅北側は良好で適正な環境の確保が図られてきたところでございます。 しかしながら、府中駅南側における再開発事業などにより、府中駅北側への人の流れに変化が生じていることから、府中駅周辺としての回遊性を創出していくことが、中心市街地の活性化を進めていく上で重要な課題の1つであると考えております。

No.	大分類	中分類	ページ	意見	市の考え方
4	1	[2]	5	府中市の歴史・文化を観光資源として対外的にアピールするなど、現在不足している観光施策を実行する組織の創生が課題と述べられているが、日本中どの地域にもそれなりの歴史はあるもので、「歴史あるまち」というフレーズは何のインパクトも持たないと思う。東京（関東）の中心地としての歴史を徹底的に告知・アピールすべきである。	本市の最上位計画である「第6次府中市総合計画」では、基本理念の1つとして「誇りと愛着の持てるまち」をスローガンに掲げ、国史跡武蔵国府跡や国指定天然記念物の馬場大門のケヤキ並木などの歴史文化遺産、また多摩川や浅間山などの水と緑豊かな自然環境などに市民が愛着を持ち、これからも住み続けたいと思えるまちを目指し、各種取組を展開しています。 本基本計画（案）における本市の歴史を伝える取組といたしましては、「武蔵国府跡（国司館地区）保存活用事業」があり、本市の歴史を象徴する奈良時代の国司館と江戸時代の徳川家康御殿という歴史遺産の価値と魅力を広く内外に発信する「日本一JRの駅に近い史跡」として、保全及び活用を図ってまいります。また、本市の歴史や当該施設などのPRにつきましても、中心市街地のエリアマネジメントを進める組織機構を創設し、積極的に実施してまいります。
5	1	[2]	5	②府中駅南口第一種市街地再開発事業で、商業施設での人手の増加や購買活動が周辺の商店街に波及していない等、商業活性化に至っていないとの指摘がされているが、現在建設中の第一地区の再開発ビルの市議会当該委員会への報告から見ると、広域から集客可能なテナント構成が見られず、また完成後は現状の仮設店舗の大部分もなくなり、現状と比較した際に大幅な魅力アップにはならないと思う。	第一地区のテナントにつきましては、関係権利者で組織する再開発組合において、市内や近隣市における店舗の状況、にぎわいの創出などを考慮した選定を行っているところでございます。また、中心市街地におけるその他の地域におきましても、新たに創設する組織機構において、経済活力や魅力の向上に資する取組を積極的に展開してまいります。
6	1	[2]	5	駅前ビルを含む3再開発ビルのテナント構成に関する協議会（利害関係者のみでは成立しない）を設立し、大型商業施設内のテナント構成のバランスを点検・修正・調整する機能を創るべき。	各施設におけるテナント構成につきましては、それぞれの設置時や更新時にニーズの調査を行いながら検討されたものと認識しております。 今後、それらのバランスを調整する機能につきましては、中心市街地の活性化を目指すという目標を官民が共に共有した上で、行政が主体となって進めるということではなく、互いに目標達成に向けて取り組めるような環境作りを市は支援していく必要があると考えております。
7	1	[2]	5	大型商業施設ばかりで、路面の魅力ある商業店舗が欠落している。	本基本計画では、経済活力や魅力の向上に資する取組として、むさし府中商工会議所とエリアマネジメントを進める組織機構が連携し、中心市街地の空き店舗を活用したチャレンジショップやアンテナショップ等の創業支援を掲げておりますので、計画策定後、速やかに取り組んでまいります。

No.	大分類	中分類	ページ	意見	市の考え方
8	1	[2] [3]	5、6	<p>5 ページ、② 府中駅南口第一種市街地再開発事業では、「商業施設での人出の増加や購買活動が周辺の商店街に波及していないなど、面的な商業活性化に至っていない。そのため、市街地再開発事業により整備された商業施設間や古くからの商店街との役割分担や連携・協力、業態などを調整する場と仕切り役が必要である。」と記載されている一方で、6 ページ(1) これまでの取組では、「府中駅南口第一種市街地再開発事業により、老朽化した木造建築物や狭あい道路が解消され、良好な商業環境が整備された。市街地再開発事業により整備した商業施設には、再開発前から立地していた商店に加え、大手百貨店やシネマコンプレックス等が入居しており、市内外から多くの買い物客が訪れる拠点となっている。」と記載されている。</p> <p>何故、府中駅南口第一種市街地再開発事業の評価について、5 ページと6 ページとの間で上記のように異なる内容になっているのか、教えてほしい。</p>	<p>府中駅南口第一種市街地再開発事業における効果につきましては、ハード面で、市内外から多くの方々が訪れる拠点を整備できたことが挙げられます。一方で、ソフト面における取組が十分に広まらずに、回遊性の面で課題が生じており、周辺の商店会への効果の波及していない状況も見受けられました。</p> <p>今後、第一地区の整備により、府中駅南口第一種市街地再開発事業におけるハード面の取組は完了することから、ソフト面の取組を強化することとしており、回遊性の創出に努めてまいります。</p>
9	1	[3]	1 2	<p>「ちょこ・りん・スポット」の廃止について、ただ単に、自転車駐車が出来れば廃止するというのは、いかにもお役所仕事というやり方である。</p>	<p>「ちょこ・りん・スポット」につきましては、府中駅南口第一地区第一種市街地再開発事業が完了するまでの暫定的な施設として、平成15年に特例的に設置したものでございます。</p> <p>このことから、同事業に合わせて自転車駐車を整備し、運用が始まる際には、「ちょこ・りん・スポット」を廃止することとなりますので、ご理解、ご協力くださいますようお願いいたします。</p>
10	1	[3]	1 6	<p>16 ページ、④商店街 では、中心市街地内の商店街連合会会員数が減少傾向にある旨の記載がある。</p> <p>中心市街地でさえ、上記のような傾向にあるということは、周辺地域の商店街はさらに大きな減少が想定され、非常に大きな問題だと認識した。</p> <p>今後の重大課題である高齢化社会のことを考えると、中心市街地へ出て来ることすら困難な周辺地域に居住する高齢の方々が増加すると想定される。</p> <p>スピード感を持った中心市街地の活性化、そしてその活気の速やかな周辺地域の商店街への波及が喫緊の課題と考える。</p>	<p>本市では、市内の交通不便地域の解消を行うとともに、公共施設との接続、高齢者や障害者の社会参加の促進等、市民生活の利便を図ることを目的に「ちゅうバス」というコミュニティバスを5路線7ルートで運行しております。</p> <p>本基本計画に基づく各事業の実施により、中心市街地に来やすい、来たくなるようなまちづくりを展開するとともに、創出するにぎわいを市全域へと波及させていくことを目標に取組を進めてまいります。</p>

No.	大分類	中分類	ページ	意見	市の考え方
11	1	[3]	19	19ページ、⑥ 土地利用 では、中心市街地において、商業用地から住宅用地への転用が進行していると記載されているが、上記のように単なる住宅用地への転用ではなく、低層階(1F～3F程度)を商用、中上層階を住宅用あるいはオフィス用とするといった混在型にさせることで、商店や商業施設の低下を防止することはできないのか？近い将来中心市街地自体がベッドタウン化してしまわないかという危機感を感じている。	中心市街地における民間事業者の動きに対し、行政側のみが働きかけ、一定の方向性に誘導することは困難な面もございますので、今回の基本計画の策定を契機といたしまして、中心市街地の活性化に関する方針を広くご理解いただき、市民や民間事業者と協働してまちづくりを進められるよう、取り組んでまいります。
12	1	[3]	20	20ページ、⑦ 鉄道駅乗降客数 では、「府中駅の年間乗降客数及び府中本町駅の年間乗車人員は共に減少傾向にあり、府中駅の乗降客数は平成20年度から24年度までに約111万人、府中本町駅の乗車人員は約22万人減少している。」と記載されている。 府中というまちに魅力がないということ象徴するような数字であると感じる。	鉄道駅乗降客数や歩行者交通量の減少につきましては、近隣市における再開発事業等に伴い、集客力のある新たな施設整備が進んでいることが要因の1つとして考えられます。 近隣市におけるこれらの動きに対し、本市といたしましては、まずは本基本計画を策定し、官民が協働してまちづくりを進めていくことを明確に示すとともに、①経済活力の向上、②回遊性の創出、③市民交流の増進の3点を目標に、各種取組を進め、文化・歴史のある中心市街地の形成を図ってまいります。
13	1	[3]	21	21ページ、⑨ 歩行者交通量(休日) では、「中心市街地の歩行者交通量は、主要な回遊導線であるけやき並木通りで減少しており、3地点合計で、平成18年と平成27年の調査結果を比較すると、約7パーセント減少している。」と記載されている。 深刻な事態を表わしている数値だと思うが、府中市としての今後の対応方針を聞きたい。	
14	1	[3]	28	28ページ、ウ 府中市近隣の主要駅の施設利用の頻度 では、「本市近隣の主要駅にある施設を、「ほとんど毎日」・「週に4回以上」・「主に平日、週1～3回以上」・「主に休日、週1～3回以上」と回答した市民は全体の約3割を占め、近隣の主要駅にある施設を日常的に利用していることがうかがえる。」と記載されている。 また、エ 府中市近隣の主要駅の施設利用の目的では、「本市近隣の主要駅にある施設の利用目的として、食料品や日用品の購入が最も多い。購買に関する項目では、レストランや喫茶店などの飲食店の利用と嗜好品や贈答品などの購入が、府中駅周辺の利用目的に比べて多い。」と記載されている。 上記を踏まえると、現在の府中市中心市街地は、市民のニーズを十分取り込めていないことが明白である。この計画を達成することで、市民ニーズを十分取り込むだけでなく、近隣の主要駅を利用していた人々が府中を利用するといった理想的な姿に変えられる目算があるのかどうか聞きたい。	現在進めている府中駅南口第一地区第一種市街地再開発事業では、市民のニーズや周辺地域の店舗構成等も考慮し、テナントの店舗構成が検討されており、中心市街地の魅力を向上するきっかけになるものと認識しております。 また、中心市街地における賑わいの創出だけでなく、府中市全域にその効果を広げていくため、ハード面の整備だけでなく、ソフト面におけるエリアマネジメントの取組を進め、持続的かつ発展的な賑わいづくりに努めてまいります。

No.	大分類	中分類	ページ	意見	市の考え方
15	1	[3]	29	<p>29ページ、キ 府中駅周辺のにぎわいと魅力あるまちづくりのために必要な取組 では、「府中駅周辺のにぎわいと魅力あるまちづくりのために必要な取組として、「商業施設を充実させる」が最も多く、商業施設に関する取組が必要であると考えている市民が多い。また、「自動車・自転車の利用しやすい環境を整備する」・「利用するバスなどの本数や路線の利便を向上させる」・「バリアフリー化や交通安全対策など歩行者に優しい環境を整備する」というような交通に関する取組を進めるべきとの回答も多く、府中駅周辺の交通に関する取組が不十分であると考えている市民が多いことが分かった。」と記載されている。一方で、3ページ、[2] 中心市街地活性化に関するこれまでの取組と検証／(1) これまでの取組 では、「～府中駅周辺におけるにぎわいづくりとして、「馬場大門のケヤキ並木」(けやき並木通り)においてイベントを開催する市内団体への支援を行ってきた。また、大國魂神社とその参道であるけやき並木通りでは、数多くの祭事が催されており、例大祭である「くらやみ祭」では、期間中に大國魂神社やけやき並木通りなど府中駅周辺に約70万人以上が訪れるなど、大きなにぎわいを創出している。～中略～ 加えて、本市では回遊性を高めるため、歴史的景観との調和やバリアフリーに対応した道路整備を行っており、安全で快適な歩行空間を創出している。」と記載されている。</p> <p>市民アンケート結果と府中市の現状認識との間に大きなギャップがあるように感じるが、この点についての府中市としての見解を聞きたい。</p>	<p>本市におけるこれまでの取組について、特に、交通環境の整備に関する取組では、よりきめ細やかな対策が求められているものと認識しております。</p> <p>府中駅南口第一種市街地再開発事業に伴う取組は、現在まだ途中段階であり、今後の事業完了により、これまで以上に利用しやすく、安全性の高い空間が一体的に整備されることとなり、市民の方々の府中駅周辺に対する満足度の向上につながるものと考えております。</p>
16	1	[3]	34	<p>34ページ、④ 商店街消費者動向調査 では、「来街者の日頃の買い物状況を見ると、食料品・日用品・衣料品共に、大型店舗での買い物傾向が顕著であり、商店街などにある一般商店での買い物は、いずれも10パーセント未満となった。また、購入場所の多様化が進んでおり、スーパーや百貨店以外にも、ディスカウントストアやホームセンターでの購入も見られる。」と記載されている。</p> <p>今年2回発行されたプレミアム商品券の効果等を、府中市としてはどのように評価されているか聞きたい。</p>	<p>現在、昨年度行った事業について評価に向けた整理を行っているところでございますので、今後、他の事務事業と同様に、評価を行ってまいります。</p>
17	1	[3]	36	<p>36ページ、ケ 商店街を利用した理由 では、「自宅や勤務地に近いから」が断トツの1位。また、コ 商店街を利用しない理由 では、「買いたい物がない」がその他を除けば1位になっている。言い換えれば、「買いたい物を自宅や勤務地に近いところで売っている商店街」がもしあれば、市民は積極的に利用するということになるのではないかと聞きたい。</p> <p>この点についての府中市の見解を聞きたい。</p>	<p>平成25年度に策定された「府中市商店街振興プラン」に基づき、商店街が行う商品づくりやサービスづくり等に対する支援を継続するとともに、各商店街をタイプ別に分けて施策展開を図るなど、今後も、各商店街が地域資源を活用した魅力ある商品やサービスの提供を行えるような支援を継続してまいります。</p>

No.	大分類	中分類	ページ	意見	市の考え方
18	2	[3]	4 5	<p>4 5 ページ、(2) 近隣市主要駅の市街地再開発事業の進行では、「本市近隣市の主要駅である調布駅・武蔵小金井駅・国分寺駅・立川駅では駅前において市街地再開発事業が進行しており、今後、大規模商業施設が次々と開業する予定である。」と記載されている。</p> <p>府中市の活性化の参考にするだけでなく、差別化を図り、府中を個性があり、かつ魅力的な街にするためにも、調布駅・武蔵小金井駅・国分寺駅・立川駅の各駅前の市街地再開発事業内容を府中市として十分に調査する必要があると思うが、府中市の見解を聞きたい。</p>	<p>府中駅南口第一地区第一種市街地再開発事業を進めるに当たっては、近隣市における再開発事業の内容を把握し、本市の特徴であるけやき並木通りと調和した空間の創出に努めてまいりました。</p> <p>また、中心市街地の活性化とともに、近隣市とは異なる魅力的なまちにしていくためには、ソフト面の取組を充実していく必要があると考えておりますので、エリアマネジメントを進める新たな組織機構を創設し、取り組んでまいります。</p>
19	3	[2]	4 9、 5 0	<p>方針① 商業活性化の推進による魅力あふれるまちづくりには、鉄道事業者(府中駅であれば京王電鉄、府中本町であればJR東日本)も巻き込むことが必須要件だと個人的には感じるが、府中市としての見解を聞きたい。</p>	<p>中心市街地の活性化のためには、多様な関係団体における協働が欠かせないと考えており、今後、鉄道事業者と連携して取り組めるように検討してまいります。</p>
20	3	[2]	5 3	<p>5 3 ページ下段に、「市東部地域の多磨駅東側では、大規模商業施設が開業予定であり、本市の中心市街地にも影響が懸念されるため、中心部と東部地域相互の包括的連携を図る取組を促進する。」と記載されているが、例えば、西原町の「府中ショッピングスクエア」や西府の「西友」等の既に営業している商業施設群との住み分けについてはどのように考えられているのか聞きたい。</p>	<p>本基本計画では、計画期間内における中心市街地の賑わいに影響を与えるおそれのある要因として、多磨駅東側の大規模商業施設を記載するとともに、その対応策を記載しております。</p> <p>なお、既存の市内商業施設や商店による影響につきましては、現在の状況に至る過程のなかで当然影響があったものと推察されますが、それも踏まえ、本基本計画では事業を整理しております。</p>
21	3	[3]	5 4	<p>5 4 ページ、[3] 目標指標・目標数値の設定では、「中心市街地活性化の基本的な方針の達成状況を把握するため、方針ごとに取組の目標を設定し、取組の効果を計る指標を設定する。目標指標は、計画期間内においてフォローアップを行い、目標値の達成状況を把握するとともに、必要に応じて事業の見直し・促進等の改善措置を講じるものとする。」と記載されている。</p> <p>上記内容については、どのように府中市民に公開される方針か聞きたい。</p>	<p>本基本計画における目標値の達成状況につきましては、毎年度国への報告が求められていることから、継続的にフォローアップ調査を行ってまいりますので、その結果を市ホームページで公表していく予定です。</p>
22	3	[3]	5 4	<p>5 4 ページ、表 3-1 目標指標及び目標数値において、「空き店舗数」、「東京競馬場タイアップ来店人数(人)」、「休日の歩行者交通量(人/日)」の3項目については目標数値欄が空白になっているが、何故なのか、事情を聞きたい。</p>	<p>パブリックコメント手続の期間を十分確保するとともに、いただいたご意見に適切に対応するため、今回は、本基本計画に関する骨子が固まった時点でご意見を伺うことといたしました。</p> <p>各指標につきましては、基本計画策定までに調査を行い、中心市街地活性化協議会にも諮った上で、記載することとしております。</p>

No.	大分類	中分類	ページ	意見	市の考え方
23	3	[3]	55	<p>②目標数値の設定の考え方という大規模商業施設は、公的施設ではなく、一般の営利企業であることから考えると、府中市の側から見れば、『再開発事業により新たに開業する大規模商業施設とエリアマネジメントによる販売促進活動等により、年間販売額を増加させること』で年間販売額は増加するかもしれないが、一般の営利企業大規模商業施設からみれば、減収が続く想定とすれば、結果的に撤退ということもありうると思うが、府中市としては、このあたりのリスクをどのように分析されているか聞きたい。</p>	<p>各種指標の変動状況を踏まえ、現状のままでは今後ご指摘のリスクが増加してしまうおそれがあることから、経済活力を向上させることを目指した本基本計画を策定し、各種取組を進めてまいります。</p>
24	4	[1]	60	<p>(1) 現状分析では、「本市では、平成20年1月に景観法に基づく景観行政団体となり、「美しい風格のある元気なまち」を目指すことを基本に、府中市が誇る歴史・文化と調和した景観形成を推進するべく平成20年4月に府中市景観計画を策定している。同計画の中で、大國魂神社及びけやき並木周辺を「大國魂神社・けやき並木周辺景観形成推進地区」に指定し、歴史と調和した風格のある景観づくりを行うとしている。」と記載されている。</p> <p>とはいいつつ、府中は、例えば川越のようなかつての街並みが保存されているわけでもなく、またけやき並木の府中駅南口側にはパチンコ屋の派手なネオンが輝いているのを見ると、上記で語られているほどの歴史は感じられないと思われることも、特に府中市の外から来られた方々の場合は多いのではと個人的には感じたが、府中市としての見解を聞きたい。</p>	<p>けやき並木通り周辺の景観につきましては、エリア全体では、①けやき並木との調和、②大國魂神社との調和、③商業地のにぎわいの連続性、④風格ある街並み、⑤周囲の街並みとの調和の5点に配慮し、進めております。これらを意識した良好な景観形成に向けて、今後も民間事業者の方々にもご協力いただきながら、取り組んでまいります。</p>
25	7	[1]	73	<p>(1) 現状分析では、「イベントの多くは単独開催であり、イベント間や周辺事業者との連携が十分とはいえず、人のにぎわいと商業のにぎわいが効果的に連動していないのが現状である。」と記載されている。</p> <p>個人的にも、府中の場合は、一過性のイベントが中心で、常ににぎわうという視点が欠けていると感じていますが、74ページ以降の施策を拝見すると、「商工まつり」、「府中マルシェ」、「よさこい in 府中」、「JAZZ in FUCHU」、「くらやみ祭り」といったように、やはり一過性のイベントが中心になっており、常ににぎわうためのリピーターの醸成に効果があるのか疑問に感じた。</p> <p>74ページ以降の諸施策について、府中市としての考えを聞きたい。</p>	<p>各種イベント事業につきましては、実施による中心市街地の賑わい創出の効果が期待できることから、本基本計画に記載しておりますが、それとは別の箇所に、エリアマネジメントの取組も記載しており、イベント間や事業者間の連携を図ることによる賑わいの創出にも取り組むこととしております。</p>

No.	大分類	中分類	ページ	意見	市の考え方
26	1 1	[3]	1 2 4	「Loveふちゅう賑わい創出委員会」のメンバーに、買い物をする立場である一般市民も是非参画させ、本計画の中にもアンケート結果という形で記載されていたような、生の市民の声を是非とも反映させるべきと考えるが、府中市としての見解を聞きたい。	本基本計画を策定するまでには、市政世論調査やけやき並木周辺で開催されるイベントにおけるポスターセッションなどを通じて、市民の方々のご意見を伺ってまいりました。 今後、具体的に事業を実施する際につきましても、今後創設する組織機構を中心に、様々な立場の意見を集めながら進めていきたいと考えております。